

瀧口 剛
法学研究科・教授

【研究】

科研・基盤(C)「近代日本における自由主義的改革の系譜」(1920～1922)により、近代日本における自由主義的改革の系譜に関する共同研究を行い、特に大阪財界について研究を深めた。

【教育】

学部では、日本政治史(4単位)において、近代日本政治史の通史を講義した。また法政基礎演習・演習ⅠⅡの授業を担当した。大学院(法学研究科)においては日本政治史・同特殊講義(2単位)において、演習形式で近代日本政治史に関する授業を行い、日本政治総合演習(2単位)において、留学生向けに日本政治入門の授業を行った。また、担任教員、指導教員として2名の大学院生の研究指導を行った結果、それぞれ修士論文、博士論文を執筆した。

【管理運営】

法学研究科長として、部局運営に責任を持ってあたり、運営委員会、計画室、財部室その他関連する部内委員をつとめた。全学では、人文社会科学系の戦略会議議長、経営協議会、評議会などの委員をつとめた。

【社会貢献】

特になし

【特記事項】

グローバルヒストリー、グローバル日本学教育研究拠点の兼任教員をつとめた。